海津市コミュニティバスの利用状況について

(1) 利用者数の推移

平成 26 年度の利用者は全体で 150,999 人となり、前年度比 3.5%の増加となっています。

路線別の利用者は前年度に比べ海津羽島線、南濃南回り線は増加し、他の路線は減少しています。

全体の利用者を見ても、この数年で過去最高の利用者数です。海津羽島線においては、年々増加しております。お千代保稲荷等の観光利用や、市外からの海津明誠高校への通学者が増えたことにより増えます。

(2) 路線別利用特性

平成26年度の客層別の利用者は、全体では前年度と比べると若干高校生の割合が増加しています。

路線別では、平田お千代保稲荷線で高校生の割合が減少し、その他の路線では高校生の割合が増加しています。

(3) 海津市キッズパスポート購入件数の推移

平成26年度においては、城南中学校生徒の購入が年々増加しています。

(4) コミュニティバス定期券購入者数（4月の購入者）の推移

通学定期券は、主に海津明誠高校への通学に利用されています。その他 30 名弱の生徒が、岐阜方面の高校への通学に岐阜羽島駅バス停を利用しています。